

十日市場団地地区

十日市場団地地区別計画推進策定委員会

地域

十日市場町（十日市場団地地区）

昭和34年から39年にかけて建てられた市営十日市場住宅を中心とした地区です。建物の老朽化に伴い、十日市場ヒルタウンとして平成3年から全面的な建替えを実施し、高層化により人口も増加しました。ヒルタウンの名称のとおり、丘陵状の地形に計画的に整備されています。

また、「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」の取組の一つとして、民間活力の導入や市有地の有効活用等について検討されています。

<主な関連施設>

最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

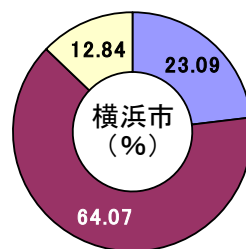
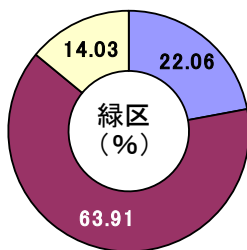
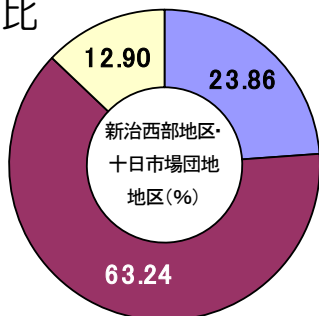
震災時避難場所（地域防災拠点）：十日市場中学校

地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

<年齢区分別人口> 人口比

平成27年(2015年)9月末

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)



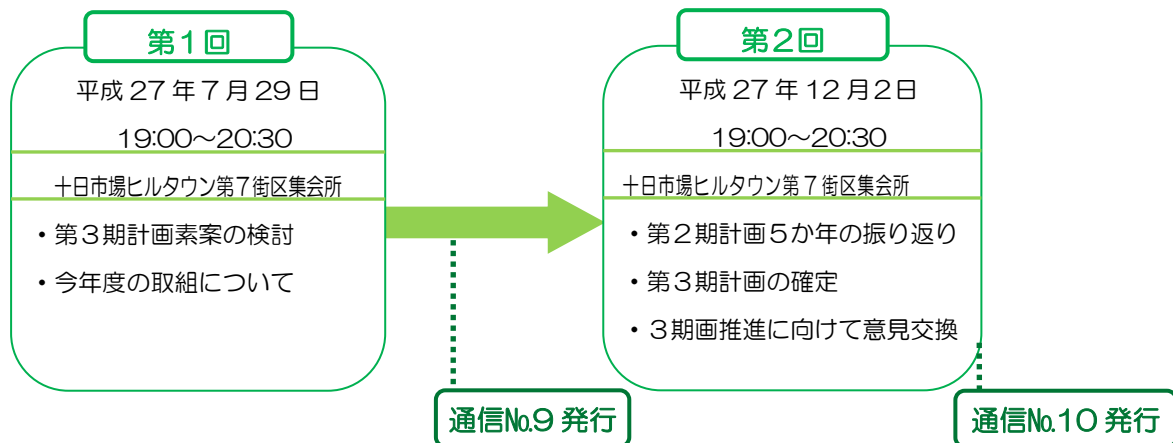
75歳~	2,438人
65~74歳	2,242人
15~64歳	12,406人
6~14歳	1,631人
0~5歳	899人
合計	19,616人

75歳~	17,774人
65~74歳	21,834人
15~64歳	114,752人
6~14歳	15,597人
0~5歳	9,603人
合計	179,560人

75歳~	397,977人
65~74歳	462,998人
15~64歳	2,388,957人
6~14歳	291,502人
0~5歳	187,470人
合計	3,728,904人

地区別計画推進策定委員会の開催

注) 上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。





十日市場団地地区



十日市場団地地区

いつまでも支えあえる
十日市場団地を目指します！

十日市場団地地区では、『いつまでも支えあえる十日市場団地』を目指してまちづくりに取り組んでいます。



おかげ様で、「お茶飲み会」は3周年！

身近な交流の場づくりとして、平成24年度から始めた「十日市場団地 お茶飲み会」は丸3周年。参加者もスタッフも楽しみながら、月1回の地域の「つながり」づくりに取り組んできました。

(写真：合同「お茶飲み会」の様子)



(写真：笑顔の「お茶飲み会」スタッフ)



12月に開催した「合同お茶飲み会」では、昨年に引き続き、近隣保育園の園児も参加。歌や踊りなどを披露するとともに、会場内を回り、参加者との交流を深めました。

「手助け」してほしい人とできる人を結びつける仕組みの検討

今年度は、団地内での住民同士の「手助け」をテーマに「地区ボランティアセンター準備委員会」を立ち上げ、「全戸アンケート」や他区の活動視察、活動内容を学ぶための説明会などを開催し、実施に向けた検討を進めました。

(写真：「地区ボランティアセンター検討会」の様子)



第3期計画では、各団体間の連携や多世代交流を意識しながら、地域の「つながり」を一層深めるとともに、地域の中での「見守り」や「支えあい」等の取組を進めていきます。

これからも団結して地域の「つながり」を作っていきます！

十日市場団地地区別計画推進策定委員会



十日市場団地地区別計画推進策定委員会
平成27年9月発行 No.9

十日市場団地地区別計画推進策定委員会

【第3期】十日市場団地地区 地区別計画目標

- ・地域が団結して「つながり」を作り、あらゆる世代の交流を広げよう
- ・連携して「見守り」を進め、いつまでも支えあえる地域を目指そう
- ・健康や交流を意識した取組を進め、地域をもっと元気にしよう

平成27年7月29日（水）、十日市場ヒルタウン第7街区集会所において「平成27年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進策定委員会」が開催されました。

第2期までの取り組みを踏まえ、第3期計画では、各団体間の連携や多世代交流を意識しながら、地域の「つながり」を一層深めるとともに、地域の中での「見守り」や「支えあい」等の取組を進め、さらに「いつまでも支えあえる十日市場団地」を目指していきます。



★みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民の方々や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

その中でも「地区別計画」は、身近な地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。十日市場団地地区別計画策定委員会（当時）が中心となって話し合いを重ね、平成23年3月に「十日市場団地地区別計画」を策定し、第2期計画（平成23年～27年度）として平成23年度から取り組んでおり、現在は第3期計画（平成28年～32年度）策定に向けた検討も進めています。

▲みどりのわ・ささえ愛プラン冊子

【平成27年度十日市場団地地区別計画推進策定委員】

○推進策定委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司会、地区社会福祉協議会、地区老人クラブ連合会、更生保護女性会環境事業推進委員会、十日市場中学校、十日市場小学校 などから構成されています。

★伊藤利男、橋川茂子、宮本増穂、百武節代、山田孝信、古田三郎、相田泰喜、川村武子、小山秀夫、羽島節子、石川多美、大村律子、前田正由、興石勝子、田中正人、落合良子、塙喬子、堀川智子、川隅やす子、古屋紀美代、山口等、本田富男、栗原保恵、平井仁女、白田邦彦、八木範夫、大木巧（敬称略、順不同、★：委員長）

▼委員会の様子



次期計画では、3つの大きな柱を立て、具体的な取組を進めていくための主体となる団体についても、検討を進めています！



お茶飲み会の様子▶



・地域が団結して「つながり」を作り、あらゆる世代の交流を広げよう

【現状と課題】

- ◆高齢化が進む中、地域住民の『交流』『つながり』がますます大切となっている
- ◆核家族化などによる近所付き合いの希薄化や子ども生活力の低下が懸念される

【具体的な取組み】

- ◆「十日市場団地お茶飲み会」を継続しながら、更に地域のみなさんの交流を深める
- ◆子どもたちと高齢者など、多くの世代が交流するきっかけを作り「つながり」を深める



・連携して「見守り」を進め、いつまでも支えあえる地域を目指そう

【現状と課題】

- ◆孤立死防止のための安否確認など、地域全体で取り組む必要がある
- ◆災害時に支援が必要な人を支えるための仕組みづくりが必要である



【具体的な取組み】

- ◆地域の中で「手助け」してほしい人とできる人を結びつける仕組みを検討する。
- ◆「玄関ポスト」がいっぱいになっていないかなど、見守りの目を増していく
- ◆団地の特徴を捉えた災害時の支援体制を検討していく

▼地区別計画推進策定委員会に先だって開催された、6月27日の「地域課題を考える会」の様子



健康や交流を意識した取組を進め地域をもっと元気にしよう！

【現状と課題】

- ◆「認知症」は予防も含め、地域全体で取り組んでいく必要がある
- ◆高齢化が進む中、個人の健康管理も大切な要素となっている

【具体的な取組み】

- ◆様々な人たちに「認知症」を知ってもらうため、「寸劇」などを取り入れるなど、わかりやすく理解してもらう機会を作る
- ◆「ウォーキング」や「ラジオ体操」など、健康維持や多世代交流、つながりを意識した取組を検討し、実施する



十日市場団地地区は、第2期計画でコツコツと地域のためにやりたいこと・やれることをみなさんの力で積み上げてきました。

平成28年度から始まる第3期計画も、活発な議論や意見交換を経て、具体的な計画に仕上がってきました。次回の委員会は12月2日に開催予定です！



みんなで力を合わせて
いつでも支えあえる十日市場団地
を目指しましょう！

<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進策定委員会
事務局 緑区こども家庭支援課内
TEL：930-2332



十日市場団地地区別計画推進策定委員会
平成28年2月発行 No.10

十日市場団地地区別計画推進策定委員会

【第3期】十日市場団地地区 地区別計画がまとまりました!!

- ・地域が団結して「つながり」を作り、あらゆる世代の交流を広げよう
- ・連携して「見守り」を進め、いつまでも支えあえる地域を目指そう
- ・健康や交流を意識した取組を進め、地域をもっと元気にしよう



平成27年12月2日(水)十日市場ヒルタウン第7街区集会所において、「平成27年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン 十日市場団地地区別計画推進策定委員会」が開催されました。

委員会では、平成28年4月からスタートする第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の「十日市場団地地区別計画」の確定に向けた最終確認を行うとともに、第2期(平成23～27年度)の振り返り、第3期計画の推進に向けて取り組みたいことなどについて、意見交換を行いました。



▲委員会の様子

----- 【第3期】十日市場団地 地区別計画の内容をご紹介します！ -----
平成28年4月から次の3つの目標の実現に向けて、取り組んでいきます。

・地域が団結して「つながり」を作り、あらゆる世代の交流を広げよう

【現状と課題】

- ◆高齢化が進む中、地域住民の『交流』『つながり』がますます大切となっている
- ◆核家族化などによる近所付き合いの希薄化や子ども生活力の低下が懸念される

【具体的な取り組み例】

- ◆「十日市場団地お茶飲み会」を継続しながら、更に地域のみなさんの交流を深める
- ◆子どもたちと高齢者など、多くの世代が交流するきっかけを作り「つながり」を深める

・連携して「見守り」を進め、いつまでもささえ合える地域を目指そう

【現状と課題】

- ◆孤立死防止のための安否確認など、地域全体で取り組む必要がある
- ◆災害時に支援が必要な人を支えるための仕組みづくりが必要である

【具体的な取り組み例】

- ◆「玄関ポスト」がいっぱいになっていないかなど、見守りの目を増していく
- ◆団地の特徴を捉えた災害時の支援体制を検討していく

・健康や交流を意識した取組を進め地域をもっと元気にしよう

【現状と課題】

- ◆「認知症」は予防も含め、地域全体で取り組んでいく必要がある
- ◆高齢化が進む中、個人の健康管理も大切な要素となっている

【具体的な取り組み例】

- ◆様々な人たちに「認知症」を知ってもらうため、わかりやすく理解してもらう機会を作る
- ◆「ラジオ体操」など、健康維持や多世代交流、つながりを意識した取組を検討し、実施する

裏面あり

委員会で話し合われた内容をご紹介します！

第2期振り返り

災害時対策の取組

災害用かまど（平成23年度～）を購入し、防災訓練やカレー大会などのイベント時の炊き出しに活用。レスキューシートによる救出訓練（平成24年度の実施）。



お茶飲み会

「十日市場団地 お茶飲み会」

平成24年度から、月1回、2か所の集会所で交互に開催。12月の「お楽しみ会」は、7街区集会所で開催、保育園児との交流もあり、大盛況。多世代交流の機会・場に！



「手助け」してほしい人とできる人を結びつける仕組みの検討

平成27年度は、「手助けして欲しい人」、「手助けできる人」を結びつける取組の必要性を感じ、ボランティアセンター設立へ向け、検討会を立ち上げ、アンケート等を実施

第3期計画の推進に向けて取り組みたいこと



お茶飲み会

大勢来てもらい定着してきている。皆さんが楽しみにしてくれているのがうれしい。参加者から手伝いになった人もいる。「つながり」の目標に向かって進んでいる。今後も発展させていきたい。

ボランティアセンター設立に向けての取り組み

4月に準備委員会を発足し、全戸アンケート、課題を考える会で意見聴取、港北区の太尾ふれあいクラブ見学、団地の会長会にて報告、準備委員会勉強会開催を行ってきました。次はコーディネーターの養成に取り組んでいます。

その他

- ・ ケアが必要と思われる人へ関わろうとしても情報がないので、関わりの難しさを感じる。
- ・ 定期的に見守りをした方がいいと思っても、余計なことなのかと思う。
- ・ 安否確認をどのように行えばいいのか。
- ・ 仕事をしていると活動が少なくなり、交流が少なくなる。
- ・ 顔の見える関係、小学生、中学生との挨拶を心がけている。
- ・ 訪問活動等に高校生や中学生の参加はどうか。将来自分が大人、親になるのを考える機会になるのではないか。

みんなで力を合わせていつでも支えあえる十日市場団地を！

★みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画とは…

わたしたち一人ひとりが、自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるように福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。十日市場地区では、「みんなで力を合わせていつでも支えあえる 十日市場団地を！」を合言葉に平成23年度から推進に取り組んでいます。



【平成27年度 十日市場団地地区別計画推進策定委員】

○推進策定委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司会、地区社会福祉協議会、地区老人クラブ連合会、更生保護女性会、環境事業推進委員会、消費生活推進員、十日市場中学校、十日市場小学校 などから構成されています。（敬称略、順不同 ★：委員長）

★伊藤利男、橋川茂子、宮本増穂、百武節代、山田孝信、古田三郎、相田泰喜、川村武子、小山秀夫、羽島節子、石川多美、大村律子、輿石勝子、田中正人、落合良子、塙喬子、堀川智子、川隅やす子、古屋紀美代、山口等、本田富男、栗原保恵、平井仁女、白田邦彦、上園フミ、三好真理子、宮入直子、八木範夫、大木巧

次回の委員会は、6～7月に開催予定です！

<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進策定委員会事務局
（緑区こども家庭支援課内）
TEL：930-2332